

浜コ三協だより

第9号

この広報誌は新潟市の地域活動補助金を受けて発行しました。

第二回中央区長との意見交換会

会長 家坂博幸

一問一答
言いたいこと聞きたいこと、区長さんへの
質問途切れず



▲左から仁多見区長、玉木副区長、関係長

昨年引き続き、二回目の意見交換会を七月二十五日に開催しました。仁多見区長さん、玉木副区長、関地域課係長さんをお招きしました。浜浦小学校区コミュニティ協議会会員の約半数が、今年、新しいメンバーに変わっておりましたが、毎月定例会議の場で、活発な意見を交換致しました。

区長さんからは
①東日本大震災の教訓
②大雪による除雪
③爆弾低気圧の発生
④高齢化進展等への対応と区政についてのお話をいただきました。

浜コミ協からは重点課題の進捗状況と支援のお願いをしました。

- ① コミ協事務所開設
 - ② 汐見台住宅跡地整備
 - ③ 関屋公民館避難所指定
 - ④ 運営助成金制度見直し
- 最後に出席全員が現在抱えている課題について述べ、区長さんから意見を拝聴しました。
- ① マップ作りの見直し
 - ② 自治会の高齢化
 - ③ 空屋対策(条例化)
 - ④ 学校開放と有料化



▲浜コミ協の皆さん

- ⑤ 地域福祉のあり方
 - ⑥ 要援護者名簿の開示
 - ⑦ 市の施設管理
 - ⑧ 公共交通
 - ⑨ 若い人の参加減(保護司、消防団、民生委員)
 - ⑩ 海岸歩道人身事故
 - ⑪ 水の都に噴水がない
- 等、意見交換、対話だけで終わらせず、施策に活かしてほしい課題がたくさん出ました。

小、中、大学生が地域に届けたい音 響け 輝け 伝えよう

第4回浜コミ合同演奏会

感動と感謝の浜コミ合同演奏会でした 文化スポーツ部会副部長 佐藤敏夫

平成二十四年九月三十日、日本歯科大学新潟生命歯学部講堂に於いて、午前十時三十分から午後十二時三十分まで盛大に行われました。

出演校と演奏曲目は、浜浦小学校器楽部は、「デイズーニーメドレー」他、関屋中学校吹奏楽部は、吹奏楽のための綺想曲「じゅげむ」他、日本歯科大学軽音楽部は、「君がいるだけで」他、それぞれ指導者のもと、日頃の成果を発揮して堂々と演奏されました。当日の来場者数は三六九名でした。地域と学校が身近に感じられ、そして感動と感激を持ち帰られたようでした。次回の開催も皆様多数の来場をお待ちしています。

演奏30分前のにぎわい(日本歯科大学講堂ロビー)



▲演奏30分前のにぎわい(日本歯科大学講堂ロビー)

みんなで心をひとつにして

浜浦小学校教諭 大滝和子

今年度、四回目となった浜コミ合同演奏会。地域の皆様に楽しんでいただけるように、みんなで心をひとつにして演奏しました。小学生らしく元気な演奏に大きな拍手をいただき、ありがとうございます。

演奏会に参加した子どもたちの感想を紹介します。

6年 佐久間実咲

九月三十日に日本歯科大学で浜コミ合同演奏会がありました。今年は、NHKのオリンピックテーマ曲の「風がふいている」や「今日の料理」など、新しい曲ばかりだったので大変でした。本番では地域の皆様からたくさん拍手をもらいアンコールまでさせていただきました。小学校生活最後の浜コミ合同演奏会が大成功でうれしかったです。

5年 米本志穂

地域の皆さんに楽しんで聴いていただけたいという思いで演奏しました。私が一番の気持ちこめてひいた曲は、「風がふいている」です。メロディーをとくに強調しました。後半はむずかしくなりましたが、いっぱい練習して、指が動くようになりました。来年の浜コミ合同演奏会も、一生けん命がんばります。

4年 川瀬彩夏

私は、器楽部で初めての浜コミ合同演奏会でした。地いきのみなさんに、喜んでもらえるよう、みんなでたくさん練習をつみ重ねました。そして本番当日、私たちはステージの上で演奏しました。みんなで心を合わせて演奏しました。アンコールの声もありました。すてきな演奏ができてよかったです。



▲浜浦小学校器楽部の皆さん

拍手のちから

関屋中学校教諭 高井久美子

普段は吹奏楽の曲の中に居る部員たちにとつて、色々なジャンルの演奏を楽しく聴ける機会が、浜コミ協主催の「歯科大でのコンサート」です。

小学生の可愛らしい楽器演奏や歯科大の先生方の大人のムードのジャズ演奏…。また現役の大學生によるフォークやポップスの歌声を間近に聴き、中学生の部員たちも大きな刺激になります。また三年生にとつては、引退演奏の場にもなっています。地域の皆様から温かい拍手とご声援を頂き、うれしく演奏させて頂いています。

音楽はコンサートホールだけで演奏するものではありません。ホールに行くのが難しい方たちにも気軽に足を運んで頂き、「中学生はこんな曲を練習しているんだな。」とか、「知っている曲を吹奏楽で聴くと、また違った感じがするんだな。」など、音楽を身近に感じて頂ければ演奏する私たちにとつてもうれしく、また励みにもなります。

練習不足でお聞き苦しい点もあるかと思いますが、地域の皆様に見守り、育てて頂けております。温かい拍手が、また頑張つて練習しよう！という原動力に変わります。

皆様の温かい拍手に支えられ、今日も元気に練習をしています。



▲西関東アンサンブルコンテストで銀賞受賞 関屋中学校吹奏楽部の皆さん

地域の皆様の温かさに感謝

日本歯科大学新潟生命歯学部教授 五十嵐 勝

今年のファイフティーズ・ス
トームズは、第五学年の
病院実習生八名を中心に
結成しました。この時期の
大学は前期の本試験中の
ため、五年生だけでバンド
を結成しなければなりません
が、例年になく今年
度の軽音楽部は各楽器の
パートが揃い、念願の学生
バンドを結成することが
できました。

六月に開催している大
学の学園祭「浜浦祭」や十
二月の冬のコンサートで
は、一年生から五年生が混
合したバンドを組むので
すが、五年生だけでバンド
を作るのは実は今回が初
めとなりまして。

いつものコンサートは
狭いライブハウスで演奏
していますが、講堂のよう
な広くて高いステージで
演奏することは今回が初
めてで、全員がかなりの緊
張を味わいました。また、
病院実習では、各自が研
修する科がバラバラで、終
了時間が異なるため、全
員が揃つての練習も十分
にとれず、前日などは真
夜中の三時までカラオケ
で練習していました。その
ため本番ではハプニング
が発生してしまいました



▲五十嵐教授のサクスを交えて熱演の日本歯科大学の皆さん

が、客席の皆様からの温か
い声援に助けられ、無事に
演奏を終えることができました。
その時に地域の皆
様と心が一つになれた感
じがしてとても嬉しく思
いました。

このように、学生時代の
良い思い出を作ることが
でき、一生「浜コミ合同演
奏会」を忘れることはない
と思います。このような機
会を作っていたらいいこ
とに感謝し、今後も交流
が続くよう後輩に告げて
いきたいと思えます。心か
ら感謝申し上げます。あ
りがとうございました。

グリーンカーテン

環境整備部会部会長 荒井 勝美

今年も浜浦小学校一年
生の学習棟に、ゴーヤーに
よるグリーンカーテン作
りに挑戦しました。

昨年の反省を踏まえ、
苗を露地植えにして育て
ました。結果は良好。ゴー
ヤーは見事に成し遂げて
くれました。また、沢山の
実をつけてくれました。
ほっと胸を撫で下ろした
ところです。

今夏は猛暑続きで朝夕
の水やりに苦労しました。
「浜浦ともだちひろば」の
スタッフ横野邦雄氏のご
協力をいただき大助かり
しました。

子どもたちは、生長す
るゴーヤーの黄色い花に
目を輝かせました。最盛



▲成功したグリーンカーテン

期が夏休みとぶつかり残
念でした。この頃、実も沢
山成熟して、葉も大人の
手のひらサイズまで大き
くなって見事なものでし
た。ただ、この蜜をねらっ
て熊蜂が教室内を訪問し
たそう、子どもたちは
大騒ぎをしたそうです。
幸い刺された子はいな
かったということでした。
涼しさだけでなく、
ゴーヤーの実も観察でき
たそうです。まっかなル
ビー色した種。口にして
「あまーい」と声をあげる
子。亀の形をした種にも
驚いたようです。ゴーヤー
によるエコカーテンは、成
功裡に終わりました。



▲苗を楽しく植える児童たち



▲見事なゴーヤーの実



防災訓練

防災部会 大堀隆夫



信濃町二区自主防災会は平成十九年一月に結成し、五月に区役所へ登録認可された防災会です。平成二十四年十月十三日(出)に第一回の町内防災訓練を行いました。開催に至るまでの作業として(一)防災組織の作成、防災委員会の開催、役割分担の確認(二)町内防災マップの作成の為、町内の通路、危険箇所などの下見を行いました。

当日は七十二名の参加者の下、避難誘導訓練と、安否確認訓練を行いました。町内を一



▲避難誘導訓練



班二班三班に分け本部を設けたランシーバーによる各班との連絡、情報伝達を計画しました。又、ハンドマイクによる訓練開始のアナウンスで町内を数周するなど、各班は集合場所から避難経路を通り、避難場所の浜浦小学校へと移動し出発時の人数確認を行いました。浜小では非常食のアルファ米の試食体験を行いました。

訓練内容は小規模ですが目的は町内でだれでも声を掛け合える、顔みしりの人を増やす町内を自指しました。自分の身は自分で守る「自助」、町内の人達が助け合える「共助」が重要だと思えます。終了後の十月三十一日に全防災委員出席の下、第一回避難訓練検証会を開きました。防災委員による反省会ではさまざまな意見、改善点が出され有意義な交換会でした。次年度の第二回開催への課題を協議し、記録にのこしました。

班二班三班に分け本部を設けたランシーバーによる各班との連絡、情報伝達を計画しました。又、ハンドマイクによる訓練開始のアナウンスで町内を数周するなど、各班は集合場所から避難経路を通り、避難場所の浜浦小学校へと移動し出発時の人数確認を行いました。浜小では非常食のアルファ米の試食体験を行いました。

安心して暮らせる地域づくりをめざしています

福祉教育部会部長 渡部 倭尚

《福祉マップの作成に参加しています》

今年も新潟市で作成する福祉マップの作成に部会員二名で参加し、昨年よりも使い勝手のよいマップの発行をお手伝いしています。



▲見守り活動マップ

《安心カードを配付しています》

平成二十三年度から浜浦地区在住の七十五歳以上の方全員に、地域の民生委員さんのご協力により安心カードをお届けしております。緊急の時に必要な事項を書き込み、冷蔵庫の脇に吊り下げることができます。今後も配付を続けて行きます。まだ届いていない方、希望される方は担当民生委員さんへお申し出ください。

安心カード		安心カード	
消防	119	警察	110
中央区役所	223-1000	新潟市島原センター	246-1199
福祉部会	246-5859	福祉部会	246-5859

▲安心カード

《地域のふれあいサロン(浜浦ひなたぼっこ)の会を開設しています》

毎月第四土曜日に関屋コミュニティハウス三階ホールにて、六十五歳以上の方を対象に開催しています。

お茶を飲みながらボランティアによるプロ級の器楽演奏、ダンス、お琴、コーラス、踊りなどで午後のひと時を楽しんでください。予約は不要です。時間があつたら参加してください。自治会回覧で時々ご案内しております。



ふれあいサロン▼▶



汐見台市営住宅跡地復元について

浜コミ協会長兼跡地活用検討委員 家坂博幸

新潟地震のあと、その被害者の方々のため、昭和四十年に保安林を伐採して、汐見台市営住宅、県営アパートが建設された。あれから約五十年の時が流れ、汐見台住宅は、その役割を終え、更地となった。

航空俯瞰写真でみると、中央区西海岸の中で、林帯が極めて狭い地区が汐見台住宅跡地から通称タコ公園と呼ばれる地域ゾーンであることがよくわかる。

平成二十二年に浜浦小学校区コミユニティ協議会から出された「この地域をもとの保安林に復元してほしい」という要望を受けて、中央区自治協議会の「水辺とみなすのまち」部会では、現地を視察し、提言書を中央区に提出、有識者による検討委員会が発足した。この地域のあるべき姿としてまとめられた提言をもとに、平成二十四年に、住宅跡地の土壌調査がおこなわれ、二十五年に松の苗木が移植される予定となっている。



▲50年ぶりに復元される保安林

森作りとその整備には長丁場の維持管理が必要となる。緑の少ない中央区にとつて、市民の憩いの森、健康の森として、大切な海岸林である。まずは行政が主体的かつ継続性のある施策を実施してほしい。浜浦地域の保安林は地域の生活圏と同一平面上になく、砂丘を登ったところがあり、地域住民には身近に感じられないところでもあるが、この林帯が強風や塩害から生活を守ってくれている。

検討対象範囲



汐見台周辺 (約7.5ha)
汐見台周辺全体の役割・位置づけを整理

市営住宅跡地 (約8,000m²)
その中で市営住宅跡地の役割を検討

凡例

- P: クロマツ
- R: ニセアカシア
- P-R: クロマツ・ニセアカシア混交
- S: 低木
- g: 草地
- B: 裸地

親子レク大会

環境整備部会部長兼青少年育成協 荒井勝美

七月八日、二十名の親子で、浜浦小体育館で室内レクをしました。ジャンケンジャンカ、新聞紙ボール運び、大玉送りパン喰い競争と大いに盛り上がりました。



関屋浜をきれいに

浜コミ協会長兼浜小育成協議会会長 家坂博幸

九月一日(土)、地域のボランティア三百名が浜浦小学校に集結、三グループに分かれて夏を賑わした浜茶屋まで清掃に汗を流しました。

今年のスローガンは、「みんなで関屋浜・砂防林をきれいに！」でした。そこで一グループが松林に入って、松にまきつく蔦を除きました。日頃、強風や塩害から地域を守ってくれる松に元気を出してもう思いました。一週間後「夕日ウォーク」に参加された人達から「松林がきれいになったね」という声も聞かれました。来年も参加しましょう。



▲海岸清掃

浜コミ協の 活性化に向けて

中央区地域課係長 関智雄

中央区では、コミュニティ協議会の活動を支援するため、原則として一つのコミュニティ協議会に職員二名を担当職員として配置しております。

私は地域課に異動した平成二十三年度から、関屋公民館の長沼主査とともに、浜浦小学校区コミュニティ協議会の担当職員として、定例会や行事に参加させて頂いておられます。特に、「浜コミ合同演奏会」は、私自身が中学・高校時代にブラスバンド部に所属していたこともあり、毎年楽しみにさせて頂いています。

また、毎月定例会に参加させて頂いたとき、コミュニティ協議会だけでなく、所属する各自治会の抱える問題や日頃の活動内容を直接お聞きできる機会があることは、地域課で自治会やコミュニティ協議会を担当している私にとって大変有意義なものになっています。

担当職員となったことを一つの縁として、浜浦小学校区コミュニティ協議会の活性化のお手伝いができれば、と考えておりますので、これからもよろしくお願いたします。

第二回フロアカーリング講習会実施

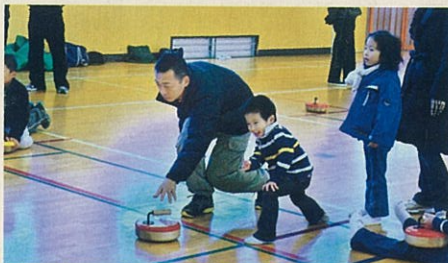
ほのぼの世代間交流

文化スポーツ部会会長 中静浩一

十一月二十五日浜浦小学校体育館で、標記の大会を実施しました。今春新潟市内の生涯スポーツで最も人気のある種目。

片膝か両膝を床面についた姿勢から木製のターゲットを的に、キヤスター付きの木製フロッカーを送球し得点を競う競技ですが、微妙な変化が生じたり最終送球で一発逆転が生じる為、参加者は一投毎にスリルが味わえ体育館に歓声が響きました。特に今回は八十五歳から九歳までの幅広い年齢層が各自治会から参加され役員、見学者を含む総勢七十名が受講されました。講習終了後、自治会役員チーム、ファミリ

チーム、一般参加チーム、児童チームが四ブロックに分かれ予選リーグ戦、決勝トーナメント戦他親善交流戦を実施。



▲フロアカーリングを楽しむ児童と家族

微妙な判定もありましたが、小学生チームが熟年チームに勝利を譲る場面も見られ、正にほのぼの世代間交流会となりました。又、本事業を助成して頂いた中央区地域課、関係長及び浜小の藤井教頭先生も視察にお見えになり、大変高い評価を頂き大会継続の実施を促されました。開催に当たり南区スポーツ推進委員の皆様からの御指導、藤井教頭先生及びスポーツ振興会の皆様から多大なご協力を頂いたことに感謝し、ご報告と致します。

耳
よりの話
その1
シリーズ

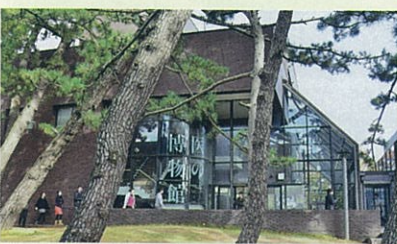
医の博物館

会長 家坂博幸

日本で唯一の医学の歴史博物館が浜浦地区にある日本歯科大学校内に常設されており、どなたも入館できます。医・歯・薬に関する江戸時代から昭和時代に至る史料(古医書、医療機械、器具)約五千点が展示されておりま



▲「解体新書」複製本(原本はケース内に展示)



▲医の博物館

開館日/月曜～金曜日
開館時間/午前10時～午後4時
入館料/無料 問い合わせ先/025-267-1500

す。小学生や医療関係者、一般の方々が県内外から年間五千人が訪れるとのこと。ちよつと学術的で敷居が高そうにもおもしろいですがそうでもありません。さわつて動かせる昔の歯科診療台、江戸時代の歯磨き習慣を描いた浮世絵の数々、薬の看板類、医療関連のすばらしい切手コレクション等魅力ある展示がたくさんあります。病院の帰りに見学してみませんか。

編集後記

総務部会長 小竹昭男

悩み、感謝、達成感。

初めての経験でしたが原稿を依頼しました方々、励ましてご指導の力をお借りしました方々、行政上の相談窓口の地域課の方々等、諸氏のご協力で思い通りの広報誌を発行することが出来ました。

ふり返つてみますと、写真の選択から、キャプション、見出しのフレーズにも苦慮しましたが、何とか間に合いました。ありがとうございました。ありがとうございます。